

書面会議 議事録

会議名 (審議会等名)	令和7年度 第1回 川西市男女共同参画審議会
書類発送日	令和7年11月20日(木)
委 員	・和田 委員 ・守 委員 ・山田(淳) 委員 ・井上委員 ・松並 委員 ・山田(静子) 委員 ・高坂 委員 ・松延 委員 ・林 委員 ・田淵 委員
議 題	議題1 会長、副会長の選出について 議題2 令和7年度川西市ジェンダー平等推進プランの取り組みについて ①庁内体制について ②男女共同参画推進事業について ③第4次川西市ジェンダー平等推進プラン進捗状況報告(R6年度)について ④審議会における女性の比率について 議題3 川西市男女共同参画センターの事業について 議題4 男女共同参画センター事業内容について
送付資料	・資料①(会議資料〈レジュメ・プラン進捗状況調査報告書等〉) ・資料②(審議事項説明文) ・資料③(川西市男女共同参画センター・2024年度事業概要)
議題1→結果 議題2～4→意見等	別紙のとおり

【各議案に対する委員からの意見・要望等の要旨】

	議題1 副会長の選出について 会長候補 和田聡子委員 副会長候補 守 如子委員 <u>結果 全委員が承認</u> 議題2 令和7年度川西市ジェンダー平等推進プランの取り組みについて ①庁内体制について 委 員 図式化してあり、初めての人でも理解しやすくよい。 ②男女共同参画推進事業について 会 長 ジェンダー平等社会の実現をめざす活動助成金事業について。 広報について、SNS などまあまあ活用されておられると思うが、是非、若い世代の人たちは紙媒体をなかなか見ない気がするので、今後も SNS での広報に是非取り組んでほしい。 委 員 男女共同参画推進事業の助成金に、多数の方やアイディアが募集されるよう、具体的な方策と力強い訴求を期待する。 委 員 計画の(8)のワーク・ライフ・バランス、ジェンダー平等、男女共同参画に積極的に取り組む事業所の表彰について。 民間企業であれば「えるぼし」とか「くるみん」とかにも、一定基準があります。そういったものを一部導入されるといいのではないかと。 まずは広く、応募していただけるような広報が大事だと思う。結局、こういった制度がつくられても、応募してくれないと意味がない。 委 員 ジェンダー平等の助成金制度について。 この募集要件にある、プレゼンテーションするということについて一般の応募者にとって敷居を高くしているのではないかと。 委 員 計画の(8)のワーク・ライフ・バランス、ジェンダー平等、男女共同参画に積極的に取り組む事業所の表彰について。 川西市内の事業所についても、例えば川西市の広報誌などで、この企業は表彰されました、というようにアピールをしていただくと、この事業所で働いてみたいという人が出てきたりするかもしれない、企業のいいアピールになるのではないかと。 会 長 (5)で、今年度の市民企画員は全員が女性だということだが、結局は周知がうまくできていないことだと思います。事務局は頑張っておられるが、市民との情報デバイスとして、例えば、事前に相談する窓口などが必要ではないか。まず知らなかったということが一番の問題だと思う。それをどうしていったらいいのか考えてほしい。
--	--

委員	③第4次川西市ジェンダー平等推進プラン進捗状況報告（R6年度）について ④審議会における女性の比率について 評価指標の37番のパレット川西の来館者数が少し減ってきているようだが、やはりセンターの認知度を上げないと、来てもらうことも難しいと思う。 やはり地元にこのような施設があると安心するので、その存在をより知られてほしい。何とかいろいろ工夫して（アプリの活用など）やっていってほしい。
会長	進捗状況調査報告書の令和6年度分で。 自己評価で、3Bがないのは初めてではないか。これは努力された成果だと思う。 今回はクリアされている。1、2で99.1%。各所管が頑張られた成果だと思う。引き続き頑張ってもらいたい。 26ページの女性委員の比率について。 会議によっては、構造的に難しいこともあると思うが、必ずしも50%という定量にこだわり過ぎないで、会議によっては、この人数比はちょっとおかしいんじゃないか、という見方が大事だと思う。 例えば、男女共同参画審議会は、前は女性が8人で80%となっている。逆にバランスが悪いし、全体の平均値を押し上げることもなっている。内容や質で判断すべきところがある。事務局側で精査して次につなげる必要がある。
委員	15番の防災会議の比率の低さについて。 災害の時に、女性の視点がなくて生理用品の備蓄品がなかった等、いろんなことが問題になっけている。さすがに9.8%というのは低すぎないか。もう少し、多様な人で多様な視点が必要ではないかなと思う。
委員	進捗状況報告（令和6年度）について。 進捗自己評価はおおむね2or1で問題ないように思う。 評価指標のところ、「現状」と「令和6年度」というのがわかりづらい。 令和6年度が現状では？数値が悪くなっているところは、どう改善するのか知りたい。 審議会等における女性委員の比率について。 割合が低いところは改善の余地はあるのか。何か取り組みされているのか。 女性委員の割合が50%未満のところはピンク色になっているが、こういった問題意識をもっておられるのが不明である。
委員	第4次川西市ジェンダー平等推進プラン進捗状況報告（令和6年度）について。 進捗がはかばかしくない項目は、原因の見える化と「なぜなぜ分析」して、進捗の促進または目標/計画の見直しを図っていただきたい。
委員	第4次川西市ジェンダー平等推進プラン進捗状況報告（令和6年度）について。 カミングアウトしていない子も少なからずいるとのことで、教員の研修などを通じて、実際信用してカミングアウトした時の教師の対応について考えていく必要がある。市教委主催の研修などで企画継続してもらいたい。
委員	審議会等における女性委員の比率について。 男女共同参画審議会の女性比率は80%と記載されているが、第12期では男性が増加している。あえてバランスに配慮されたのか。 全体的にまだ女性が少ないと感じる。特に子どもに関わるような審議会では、もっと女性が多くてもいいと思う。

	議題3 川西市男女共同参画センターの事業について 議題4 男女共同参画センター事業内容について
委 員	男女共同参画センターに、より多くの方が興味を持って参加を希望されるよう、素敵でワクワクするような事業を期待する。
委 員	さまざまな人権課題について理解促進のための講座が実施されていることがよくわかる。
委 員	多様なテーマについて、多くのイベントを開催されていて、いつもがんばっておられると思う。私もまた個人的に参加したい。
会 長	事業概要 48 ページにある中学校への「出前講座」について。 同じ教育現場でもジェンダー平等教育の取り組みに温度差を感じている。子ども時代に教育を受けた受けないというのは、後々、おとなになると、大きく違ってくる。 教育委員会のほうにも、声をかけていっていただきたい。
委 員	私の勤める大学の学生と先日、地元吹田市の男女共同参画センターに見学に行ったとき、学生からすごく受けがよかったのが、「パパと子どもの料理教室」でした。それを見た女子学生が、「これはいい！」と。本当に子育て世代の人たちが男女共同参画センターをいろいろな形で使えることは、本当に大事なことだと思っている。 ■全体を通して 感想だが、1年前までは「milife」を読んだことはない。よって、このような審議会の存在も知らなかった。その中で、市には他にも多くの審議会があるのを知った。もう少し少なくできないものか、ひっつけられないのかと思った。 私は川西市の障がい者支援の二つのボランティアグループに入っているが、メンバーは圧倒的に女性だ。そういう方々がもう少しこのような審議会等に振り向いてもらえれば、バランスがとれると思う。 また、私が住んでいるこの川西市は、このジェンダー平等について、どんな強みを持っているのか。いろんな資料いただいて、いろんなことをやっているのは分かるが、例えば伊丹市とか宝塚市とか北摂の市に比べて、どうなんだというところがもう少し見えればいいと思う。 もう一点気が付いたところは、労働慣行というところがすごく課題だと思う。いろいろなボランティア活動を通じて、女性からの意見をいろいろ聞くが、例えば職場などで、まだまだ女性が、いわゆる上司とかにお茶を入れていることが多いなど、それらに対する不平不満が多い。実際に働く女性の職場では、まだまだ労働慣行的に女性が生産性のある仕事が十分にまかされていないことなども聞くので、そういうところについても今後、議論ができればと感じた。 また、仮にそのようなことを事業所などにヒアリングしても、多分、一般的な答えしか返ってこないと思うので、例えば、そこで働く女性にアンケートをとるとかの方がいいと思う。 公立であれば、川西市が主導権をもってできるはずなので、1回集約されてみたら、実際の課題が見えてくるのではないかなと思う。